

皆で力を合わせて、沼木ならではの事業を！

新体制での初仕事は、活動の拠点となる旧沼木中学校をリニューアル。地域の皆さんが利用しやすいように、環境整備に力を

例年であれば、各自治会から推挙された代表の方々と顔を合わせて行う定期総会も昨年は断念し、初めて書面決議の可決をもって、新しい役員や議員の皆様と共にコロナ禍と闘いながらスタートさせることとなりました。

地域の皆さんの手により10年以上にわたり活発に活動を展開しています。そんな中、昨年3月に新型コロナウイルスの影響を受け、国の緊急事態宣言の発令後は、様々な活動が中止や延期を余儀なくされ、私たちの活動事業も随分と影響を受けることとなりました。



会長 奥山 宗司

沼木まちづくり協議会は、平成22年に伊勢市のモデル地区として設立され、初代会長である青木前会長のもと沼木地区

沼木ふるさと便

第51号

令和3年3月1日発行
発行 沼木まちづくり協議会
発行責任者 奥山宗司
編集責任者 谷崎朝美

入れるところから始まりました。沼中活用委員会のメンバーをはじめ、ボランティアの方々にもお手伝いいただき、長い間、静かに時間が止まっていた沼木中学校に風が吹き込まれ、皆の活動拠点として新たに息を吹き返しました。以降、会議や催し物はすべて旧沼木中学校で行っています。

毎週土曜日の午後、開催している沼木地区子ども自立塾は、沼木地区出身の大学生たちが18名の子供たちの学習指導をしてくれています。勉強ばかりでなく、保護者として子供を対象に絵紙教室や横輪川散策など、課外授業も取り入れた楽しい学習機会を創出しています。

また、沼木地区民生児童委員のメンバーで組織する福祉委員会では、毎月第3金曜日に調理室を使い、本格的なカフェ「沼木の窓」をオープンさせ、沼木地区の住民のコミュニケーションの場になればと、様々な交流事業を行っています。会場では、みどり保育園の園児とオンラインで繋がりが、一緒に〇×クイズや体操をしたり、園児の合唱を楽しんだりする他、地元の農家の方々に出品して頂いた新鮮な野菜やお米等、沼木の物産品を販売し大盛況となっています。現在、カフェ「沼木の窓」は、コロナの影響により、開催中止を余儀なくされていますが、毎月第3金曜日お待ち遠し

いという声が多く聞かれますので、状況が好転し次第、是非とも再開したいと考えています。沼木バスも昨年10月から運行を大幅に改正、一部地域で予約制を導入した買い物バス（度会町まで）が誕生しています。黒色のタクシーが実は「沼木バス」！是非一度ご自身で予約して、ご乗車を体験していただきますようお願いいたします。

私たちの住んでいる沼木地区は、伊勢市の中心部から見たら、何かと不便を感じる事もあるかと思えます。ですが、私たちは地域を大切に、子どもからお年寄りまで、積極的に交流できる豊かな社会を創りたいと思います。

例えば、空き家を活用した居住促進、地元企業への雇用促進など、沼木地区だからこそ実現可能で、他の地域に自慢できる仕組み作りを皆で力を合わせて取り組みましょう。一人では実現できなくても、各自治会が一つとなり、知恵を絞り力を合わせて取り組めば実現できることがあると思います。

これからの新しい時代に向けて、若者が地元を愛し、地元で定住できる魅力ある沼木地区をみんなで創り上げましょう。



みんなで力を合わせて乗り越えよう！

「みどりカフェ」沼木の窓

小林 初美

沼木まちづくり協議会の沼中活用委員会地域福祉では、子どもから高齢者まで、障がいのある無にかかわらず、地域の方が気軽に集まれる居場所となることを目的として「みどりカフェ」を運営しています。

「住み慣れた地域で共に支えあい、安心して暮らすことができるように、また健康で過ごせますように」との思いをこめて開催しました。地域の輪、地域のことは地域で、自分達の手で住み続けたいまちが実現できるように願って企画しました。

第一回「沼木の窓」を8月21日（金）に開催。午後一時過ぎにスタートし、たくさんの方が珈琲を飲みに来てくださいました。地域福祉グループメンバーは慣れない手つきでウエイトレスをしました。

オンラインで、みどり保育園の子どもたちの歌声やクイズが届き、コロナ自粛により開催できていない、みどり保育園レストランの代わりに、地域の方たちに少しでも子どもたちのかわいらしい姿を届けたいと計画してくれました。参加者は子どもたちの元気な歌声に合わせ楽しいひと時を過ごしました。

また、ボランティアの廣さんによる体操は、普段動かない体にムチ打ち「1、2、3・・・」元気が出ました。

大人気の物産店は、開始前から行列ができ、嬉しい悲鳴です。沼木で取れた野菜、売り手も買い手も大喜びでした。



再開したら、ぜひ来てね！



「沼木カレンダー」をお届けしました！毎年恒例になりました「沼木カレンダー」が刷り上がり、年明けに全戸配布させていただきます。

これは、沼木まちづくり協議会の沼中活用委員会「地域福祉担当」が監修して制作している取り組みです。

表紙には、みどり保育園の子どもたちによる大作、そしてカレンダーページには、上野小学校の児童による絵と標語の数々が、縦割り班ごとに紹介されています。

今年の標語は「やさしさで、えがおあふれる沼木の町」。どのページの絵も標語もどれもが力作揃い。沼木にずっといたい、私たちのためにありがと、など子供たちの作品から伝わる熱いエールと溢れる優しさに胸が熱くなった人も多いのではないのでしょうか？

みんなで一緒に、沼木の町をやさしさと笑顔溢れる町にしていきたいでしょう！

沼木まちづくり協議会の活動は、上記の役員だけでなく各委員会メンバーをはじめ、住民の皆さん全員が参加をしていただいで成り立つ活動です。今後ともご理解・ご協力を、よろしくお願い致します！

旧沼中を活用した様々な取り組みをご紹介します！

沼木こども自立塾 **立花 和也**

令和2年7月から『沼中』に拠点づくり・世代交流・次世代の育成と橋渡しを柱として、非営利の『沼木こども自立塾』が設立されています。8月は「夏休み学習会」を実施し、小学1年生から高校3年生まで26名が参加しました。

9月からは「土曜学習会」を毎週土曜日の午後1時半から4時半まで2部制で運営しています。「みんなで楽しく学習しよう！」をモットーに令和3年1月末現在、小学1年生から高校3年生まで18名が参加しています。運営は運営責任者兼講師1名、沼木地区出身の大学生講師3名+大学進学予定のサポーター1名の合計5名の体制で行っています。集団授業ではなく、1対数名の少人数個別で、一人ひとりの子どもに対応するようにしています。小学生に対しては、基礎学力をつけるために、百ます計算などによる計算力アップや漢字学習に力を入れています。

『沼木こども自立塾』は「土曜学習会」を通して、沼木地区の次世代を担う子どもたちの学習支援を行うだけでなく、種々の体験会を企画・運営して、子どもたちの成長・自立を支援していきます。

令和2年11月に「絵手紙教室」を実施して、水彩絵の具、墨で絵を描くことを楽しみました。

令和3年1月16日の午後、「冬の横輪川探検隊」を行いました。塾生の子どもたち、保護者、およびスタッフの34名が参加しました。ルートは約3kmで、沼中から出発し少し上流の中岩へ下流へ雨沢川の合流地点へ沼中に戻る。また、保護者、スタッフと



ともに河原のゴミも同時に拾いました。ごみは軽トラックにいっぱい集まりました。

現在、新型コロナウイルス感染症の防止のため、入室時の消毒、検温、換気に注意し、かつ教室内の人数を制限して、「土曜学習会」を運営しています。4月から新規の塾生（コロナのため、密を避けるために若干名のみ）募集をする予定です、関心のある方は、早めに沼木まちづくり協議会に電話でお問い合わせください。

横輪桜だけじゃなく沼木の四季を草木染めにして沼木ブランドに！

倉世古 久美子

横輪桜で、手ぬぐい・大判ハンカチを染め、エコバックや暖簾、小物などに加工しました。コンビニなどでお買い物をされる時に便利な小さなエコバック。お部屋のアクセントにもなる絞りの柄が入った暖簾。ヘヤーアクセサリーなど、どれも一点ものです。綺麗な桜色の小物を手にとってご覧ください！

品物は、沼木の窓の物産展で販売しています。今後は横輪風輪にも置かせていただき、親しんでいただける作品を作っていきます。いずれは沼木のブランド品になればいいと考えています。

そして、横輪桜の染物だけでなく、沼木の草木を使って四季折々の染め物を行い、色んなものに加工して皆様に楽しんでいただきたいと思います。活動はどなたでも参加できますので、いつでもお問い合わせください。

私たちと一緒に草木染めを楽しみましょう。

青木前会長！有難うございました！



青木前会長 伊勢市より表彰される！

～多年に渡り沼木まちづくり協議会の会長として地域住民の福祉の増進に寄与～

令和2年11月3日（祝）に伊勢市生涯学習センター「いせトピア」多目的ホールにおいて、第15回伊勢市表彰式が開催されました。

その席上、沼木まちづくり協議会の会長として設立準備から協議会の初代会長として約10年に渡り地域のために重責を担われた功績に対し「伊勢市民功労賞」が授与されました。

当日は、コロナ禍のため観客も絞られ約50人の出席と寂しくはありましたが、地域

の皆さんの活動の成果を青木前会長が代表して受賞されたともいえるため、大変、喜ばしく感じました。

今後とも、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

「青木前会長コメント」

毎年、11月3日に「伊勢市表彰式」が行われますが、その賞の一つに「伊勢市民功労賞」があり、私はその荣誉にあずかりました。

表彰状の文面には、「あなたはまちづくり協議会会長として多年にわたり地域社会の発展のために尽力されるとともに市民の福祉増進と市勢の伸展に寄与されました」と書かれてあります。

伊勢市においては、今後のまちづくりのあり方の一つに小学校区を単位として、「沼木まちづくり協議会」が平成22年4月に設立され、当初から協議会に関わらせてもらいましたが、10年超になりこれを区切りに会長を辞させて頂きました。

設立以来、関わったその年その年の代議員さん・役員さん・各委員会の委員の方々・地域の皆様には、多くの事業や行事にご理解とご協力をしてもらい、また援助もして頂き、本当に有難うございました。

受賞後の出来事として、「沼木まちづくり協議会」役員の方から花束を頂きました。これは私にとっては、全くのサプライズでありました。まさかこの歳になつ

て花束を頂くなんて思ってもいませんでした。奥山新会長をはじめ、多くの役員さんに 過分なご配慮をいただき、私にとつて、忘れる事のない出来事の一つとなりました。

「奥山新会長コメント」

青木前会長には伊勢市民功労賞の受賞、誠にありがとうございます。

私も設立当初からイベント委員会として青木前会長と一緒に協議会活動に取り組んでまいりました。

今後も、微力ながら誠心誠意尽力してまいります。引き続き、ご指導・ご助言を賜りますようお願いいたします。



沼木まちづくり協議会では、一緒に活動してくれる仲間を大募集しています。少しでも興味のある方は、お気軽に事務局までご一報下さい。沼木まちづくり協議会 事務局（原則、月・水・金 9:00～16:30）TEL39-7240